

第1学年通信  
第9号  
2007.5.14



# 育てたい“ガンバリズム”

初めてのテストが近づいてきました。21日の月曜日から部活動がありません。本気で頑張りたいと思っています。中学校では、年間5回の定期テスト(1・2学期は各二回、3学期は1回)計画されています。これらの定期テストは、生徒の学習したものの理解度を客観的に見るために行われます。また、教師自身も授業の方法や進度など、このテストによって反省します。いわゆる到達度を測るテストです。



1年生の今の時期に一番大切なことは、点数にこだわることなく、テストに向かってどうがんばる姿勢があるかです。ご家庭でも、学習への励ましの言葉をかけてあげてください。勉強とは、“がんばること”の習慣化です。

## テスト日程

	1限	2限	3限
24日(木)	英語	国語	社会
25日(金)	理科	数学	学活

### 定期テスト勉強の心得

「絶対にやる」という強い意志を持つこと  
ムリ・ムダ・ムラのない計画を立てること  
わからないところを絶対にそのままにしないこと

### 効果的な勉強法

決まった時間に決まった場所で勉強する。  
ノートにする。(書いて覚える)  
一人で勉強する。(わからないところをさがせ)  
勉強に集中する。(ながら勉強では効果は出ない)  
睡眠時間をちゃんととる。

素敵な文章に出会いました。埼玉県の神泉中学校の木村和夫先生が、3年生の学級通信の中に書かれたものです。

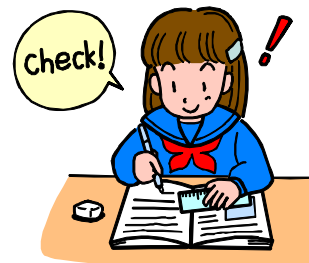
「がんばる」という言葉をよく耳にする。この言葉ほどよく使われる言葉はない。ところで、「がんばる」とはどういうことか、真剣に考えたことがあるだろうか。「がんばる」とは、覚悟を表わす言葉ではない。それは具体的な行動で示す言葉だ。

- 「がんばる」ということは「時間を注ぐ」ということだ。
- 「がんばる」ということは「エネルギーを注ぐ」ということだ。
- 「がんばる」ということは「目的を達成するまでやり続ける」ということだ。
- 「がんばる」ということは「結果を出す」ということだ。
- 「がんばる」ということは「中途半端なやり方はしない」ということだ。
- 「がんばる」ということは「他の人に感動を与える」ということだ。
- 「がんばる」ということは「自分自身の素晴らしさに出会う」ということだ。
- 「がんばる」ということは「新たながんばりを引き出す」ということだ。
- 「がんばる」ということは「生き方が変わる」ということだ。

「がんばる」ということをつかんでみようではないか。「がんばろう」と思ったなら、とにかく、時間を注ぐんだ。生活を見直し、何か(それはマンガかも知れない。テレビかも知れない。あるいは友達との長電話やメールかも知れない。)を切り捨てるんだ。そして、やるべきことに全力投球し、結果が出るまでやり続けるんだ。



「がんばったけど...」という言葉は、全力でやり続けて、タイムリミットが来てしまったときにのみ使ってもいい言葉だ。もし、途中で力を抜いたり、中途半端なやり方をしたなら「がんばったけど」という資格はない。



ところで、勘違いをしないでほしい。「がんばる」ということは、本来やるべきことを後回しにしたり、投げ出したりしてもいいということではない。やるべきことはきちんとやった上で、初めて「がんばる」ということが価値を持つのだ。

先生達もがんばるぞ!  
一緒にがんばろう!